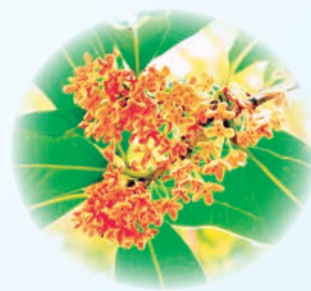


きぼう



——— 基本理念 希望のある医療 ———



高砂市民病院オープンカンファレンスをご存知ですか？



近隣の医療施設の従事者の方々に参加していただき、共に学ぶことで地域医療のレベルアップに貢献していけるよう知識、技術の研鑽を目的に開催しています。ひとつのテーマに沿って、外部講師をお招きし、専門知識をいただき事例検討なども行っています。

平成29年度 オープンカンファレンステーマ

毎月第4木曜日17時30分から約2時間

4月	医療安全
5月	周術期管理 岡山大学大学院 麻酔科・蘇生学講座教授 森松博史医師
6月	排尿自立 泌尿器科部長 上野康一医師
7月	生活習慣病 神戸大学附属病院 腎臓内科教授 西慎一医師
9月	認知症
10月	病理 / 外科
11月	感染
H30年 1月	創傷管理
2月	高齢者



〈講義の様子〉

新任医師を紹介します いつでも声をかけてください



すぎうら ともゆき
杉浦 智之 (脳神経外科)

以前にも2年間ほど勤務していました。当科は、頭部外傷、頭痛、めまいなどの精査加療、脳血管障害に対する慢性期薬物療法などを行っています。

また、もの忘れ外来も行っています。脳外科は一人体制でできることも限られていますが、地域医療に貢献し、皆様のお役に立ちたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



さかくち まさのぶ
坂口 正展 (皮膚科)

9月より下浦医師の後任として皮膚科に着任致しました坂口です。皮膚の疾患は湿疹や水虫などのありふれた疾患から乾癬、水疱症などの難治な疾患まで様々あります。

皮膚疾患でお困りのことがございましたらお気軽にご相談ください。常勤医一人ですのでできることは限られますが、少しでも良くなるように努めますのでよろしくお願ひします。



こんどう ちさ
近藤 千紗 (形成外科)

形成外科の近藤と申します。形成外科は、外傷による、急性創傷や褥瘡などの慢性創傷、顔面骨骨折、皮膚腫瘍など幅広い疾患を扱う科です。

まだまだ馴染みのない方もおられると思いますが、お気軽にご相談ください。患者さまが話しやすく丁寧な診療を心がけています。今後ともよろしくお願ひします。

“第10回 高砂市民病院健康まつり”を開催します

今年の健康まつりのテーマ

『さわやか健康まつり！～笑顔で健康増進～』

開催日時 平成29年10月21日(土) 12時～15時まで

市民の皆様を高砂市民病院をよく知っていただき、健康についての関心をもっていただくために開催してきた健康まつりも、今年で記念すべき10回目を迎えることになりました。

毎年人気の頸動脈エコーをはじめ、キッズコーナーや骨密度検査、手術室探検、講義、バザーなどの多数の催しを行う予定です。

皆様が笑顔で過ごせるよう、職員一同お待ちしておりますので、ぜひご参加ください！



講義演者	テーマ
脳神経外科 杉浦 智之 医師	もの忘れ外来の取り組み ～認知症患者さまの地域連携～
緩和ケア内科 若原 鉄平 医師	みなさんの終末期を支えます ～かかりつけ医と緩和ケア内科医との連携～

僕たち研修医!



おかもと こうへい
岡本 浩平 (臨床研修医)

4月から初期臨床研修医として働かせて頂いております。出身は、姫路市なのですが、親族が昔高砂に住んでいたこともあり、当時よく遊びに行っていたものですから病院周辺には見覚えのある景色もちらほらと残っていて、この地とご縁を感じずにはられません。

まだまだ未熟者で、皆様には様々な面でご迷惑をお掛けすることが多いかと思いますが、精一杯頑張ってお参りますので、よろしくお願い致します。



かなやま こうじ
金山 弘司 (臨床研修医)

4月より高砂市民病院の初期臨床研修医として着任致しました金山と申します。医師としてだけでなく社会人としても初めての事だらけで色々大変な事もありますが、出来ることを少しずつでも増やし、いずれ成長した際には地域の方々に貢献できるようこれからも頑張っていきたいと思っております。

同期の岡本先生共々今後ともよろしくお願い致します。



～骨粗鬆症学会認定医、マネージャーの紹介～

骨粗鬆症は骨が脆弱化し骨折を起こしやすい状態で、本邦で現在約1300万人がこの状態にあると言われています。骨折をきっかけに特に高齢者ではADL（日常生活動作）の低下をきたし、生命予後にも関わることが知られています。しかし、現状では認識や治療が十分に普及しているとは言い難く、治療の継続率も低いことが問題となっています。欧米では、コメディカルスタッフによる“リエゾンサービス”を行い、代表的な骨折である大腿骨近位部骨折の発生数も減少傾向にあります。

本邦でも骨粗鬆症のチーム医療に向け、骨粗鬆症学会が骨粗鬆症マネージャーの育成に取り組んでおり、当院でも整形外科医師が、骨粗鬆症学会の認定医を、薬剤師、放射線技師が講習と試験をクリアして骨粗鬆症マネージャーを取得しました。

具体的な取り組みは今からですが、3人で“チーム骨粗鬆症”を結成し、今後活動を行っていく予定です。



頑張っています

(写真右から)

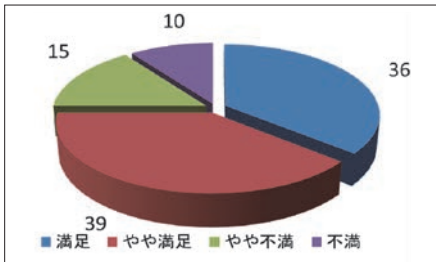
長谷川 医師
有本 薬剤師
塩谷 放射線技師



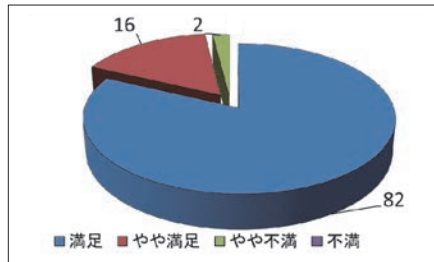
満足度調査結果のご報告



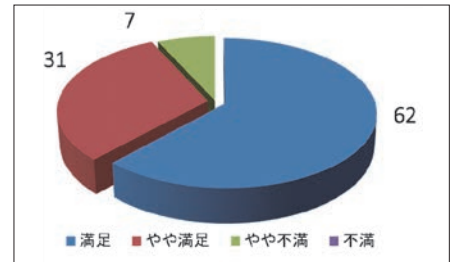
平成 29 年 6 月に患者さま満足度調査を実施しました。ご協力いただきましてありがとうございました。結果を真摯に受け止め、よりよい病院運営のために、より一層努力してまいります。



診察時の待ち時間は？



職員の対応は？



院内の雰囲気は？



ふれあい看護体験を実施しました



地域の高校生が体験を通じて、看護にふれあい、人の命について理解・関心を深めることができました。参加した学生からは、「ますます看護師になりたいになった」、「生命について考える機会になった」、「通常では体験できないことができて楽しかった」などの意見がありました。学生達の夢実現に向けて役に立てれば、嬉しいと思います。



インフルエンザに負けないぞ!

インフルエンザは、発症した人の咳やくしゃみによって、ウィルスを含む飛沫が飛び散り、それを吸い込むことや、飛び散った周りの物に触れたその手から感染します。それに対する予防は、何より確実な手洗い・咳エチケットを実施することです。

インフルエンザワクチンは、国が流行しそうな株を予測し、毎年5～6月に決定されます。ワクチンは、発症を予防する効果はそれほど高くありませんが、重症化を予防する効果があります。そして効果が出るまでに2週間程度かかり、持続は3～4ヶ月しかないので毎年接種する必要があります。

当院では、流行に備えて11月頃より接種を開始（予約は10月頃）しています。



<編集・発行>

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981(代表) Mail tact5510@city.takasago.lg.jp